

活動報告

魁会では定例会を開き、活動行事について意見交換を行っています。今年度の活動内容は以下のとおりです。

- 5月 1日(水) 平成24年度会計監査
- 5月10日(金) 第1回定例会 新役員歓迎会、今年度の活動内容について
- 7月12日(金) 第2回定例会 野菜市打ち合わせ、会報誌について
- 8月17日(土) 香川高校 同窓会出席
- 8月30日(金) 第3回定例会 野菜市開催打ち合わせ、会報誌について
- 9月13日(金) 第4回定例会 野菜市開催打ち合わせ、会報誌について
- 10月 4日(金) 藤花会四部会出席
- 10月18日(金) 第5回定例会 野菜市開催打ち合わせ、会報誌について
- 10月26日(土) 魁祭 野菜市出席
27日(日)
- 11月 8日(金) 第6回定例会 野菜市について、会報誌について
- 12月 6日(金) 第7回定例会 会報誌について

魁会新役員の紹介



この度、下記の7名が魁会役員に加わりました！宜しくお願いします。また、役員は随時募集しております。魁会での野菜市、総会開催、会報誌作成など、一緒に同窓会活動をやってみませんか？イベントのみの協力も大歓迎です！我こそはという方はご連絡ください。

《連絡先》TEL: (0836) 38-0513 (学生課)

福祉心理学科 8期生：井上 麻美、西村 香、永井 紀子
児童発達学科 5期生：寺山 千智、時乗 奈々
看護学科 3期生：椎木 香奈、中津 亜衣

お知らせ

氏名、勤務先、住所など変更となった際は、下記までご連絡ください。

《連絡先》
〒755-0805 山口県宇部市文京台二丁目1番1号
宇部フロンティア大学内 魁会事務局
TEL: (0836) 38-0513

編集後記

寒さも本格的になってまいりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、第8号となる今回の会報誌は恒例の「卒業生の声」や「野菜市報告」に加え、大学創立10周年記念式典の様子を掲載しております。昨年度よりさらにボリュームアップしてお届けしましたが、いかがでしょうか。この会報により会員の皆様に、友人や教職員の方たちと過ごした時間を懐かしんでいただき、明日へのパワーにいただけたら幸いです。これからも同窓生とのつながりを大切に企画して参りたいと思っております。引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願いいたします。未筆ながら、ご多忙中にもかかわらず、原稿依頼を快くお引き受けくださった執筆者の方々に感謝を申し上げますとともに、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。
役員一同

香川学園創立110周年記念

宇部フロンティア大学附属香川高等学校・附属中学校
本館校舎新築事業募金について

香川学園は、明治36年(1903年)に香川昌子先生によって創設された香川裁縫塾に始まり、幾度もわたる学制改革を経て、中学校は昭和22年に設置され、高等学校は昭和23年に新制高等学校となりました。時代の経過とともに校舎整備が必要となり、近年では平成16年に武道場(芝香館)及び5号館の建設、平成24年には2号館及び4号館の耐震改修を行ってきたところです。引き続き、この度、学園創立110周年を記念して、老朽化した本館校舎の建替えに着手することになりました。つきましては、卒業生の皆様、保護者の皆様におかれましては、出費多端の折から誠に恐縮でございますが、趣旨にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成25年8月



学校法人 香川学園
理事長 神谷 晃

宇部フロンティア大学附属香川高等学校
宇部フロンティア大学附属中学校
校長 相原 次男

●募金の振込・申込について

この事業の趣旨にご参同をいただける方は、下記の方法で振込をお願い申し上げます

- [1] 金融機関から振り込む場合
(手数料は自己負担となりますので、ご了承ください。)
銀行名: ゆうちょ銀行
店名: 一三九 店(イチサンキュー店)
預金種目: 当座
口座番号: 0099942
口座名義人: 学校法人 香川学園

- [2] 窓口で申し込む場合
香川学園 法人事務局 (TEL: 0836-38-0525 担当者: 新造直) または、
高校・中事務室 (電話0836-40-4993 担当者: 藤重、新造紀) に
寄付金をご持参ください。

※募金は1口千円、平成27年12月まで受け付けております。
※寄付者に対する税法上の優遇措置について税法上の寄付金控除の優遇措置が受けられますので、後日、領収書等をお送りさせていただきます。



副学長に就任して



宇部フロンティア大学
副学長 工藤 隆治

2012(平成24)年10月1日に、私は、理事長の神谷先生から宇部フロンティア大学副学長の辞命を受け取り、学長の左利先生のもとで副学長に就任しました。本学では、今までに、宇部フロンティア大学学生支援センター長、人間社会学部福祉心理学科長の仕事に就かせていただきましたが、今回は、最も責任が重い要職で、私がこの職責を務めることができるかどうか自信がなかったので、辞退することも考えました。しかし、これも私に与えられた役割と考え、引き受けさせていただきましたが、今まで経験したことがない仕事で、戸惑いや、新しい喜びを感じながら、努力をしています。

現在、最も重要な職務の1つは、大学の広報の仕事です。広報戦略室と入試広報委員会の一員に加えていただき、いかに大学や短期大学部の長所を山口県内や近隣の県外に伝えていけば良いのかを、常に前向きに考えています。

私が本学に就職したのは、大学が開校された、2002(平成14)年4月でした。それから、本学は、香川昌子先生の教育の理念である、「人間性の涵養と実学の重視」を建学の

精神として、11年の歴史を歩んできました。歴史の過程のなかで、当初、人間社会学部人間社会学科という名称でしたが、学科名は福祉心理学科に改称されました。その後、人間社会学部には、長期履修学生、教養履修学生の制度が作られ、社会人学生の教育にも力を注いできました。そして、児童発達学科、人間健康学部看護学科が開校され、大学の規模が拡大しました。2013(平成25)年4月には、人間社会学部、人間健康学部、大学院人間科学研究科の連携のもと、「宇部フロンティア大学附属・文京クリニック」が開院し、クリニックと大学が共同して教育を進めています。本学の長所の1つは、教育を中心に福祉・心理・看護が1つの輪になって、教職員と学生が共に大学を作り上げているところです。

また、多くの卒業生が、本学から巣立って行きました。施設や病院、企業に勤めた卒業生、自分の学びをさらに深めるために大学院などに進学した卒業生もいます。11年の間に、本学は、進歩したところもあれば、後退したところもありました。改革されたところもありました。多くの新しい出会いがあり、別れもありました。短く感じた11年でしたが、大学の歴史の内容は充実したものでした。本学の歴史は、大学に所属していた人たち一人ひとりの人生でした。

11年間で本学が築き上げてきたものは、誇りを持てるものです。その1つ1つを周囲の人たちに伝えることが私の現在の仕事であり、本学に貢献できるように、努力していきたいと思えます。徳川家康が残したと伝えられている言葉を参考にすれば、人の世は、重い荷物を背負って、遠い道を歩いて行くものです。決して急いではいけません。常に困難があると思えば、日々の生活に不満はないと思います。怒りを抑えて、粘り強く努力をし、自分で歩く道を、自分で照らしていけば、周りの人たちも自然と手を差し伸べてくれて、新しい道を見つけることができます。未来へ進む道を見つける努力が、香川学園または大学の発展につながると思っています。



卒業生の
声

人間社会学部 福祉心理学科卒



8期生

西村 香

私は現在、特別養護老人ホームで介護員として仕事をしています。卒業して7カ月が過ぎましたが、環境にも慣れ日々忙しく動き回っています。はじめは覚えることがたくさんあり、また人間関係に不安を感じたりと、自分のことではいっぱいでした。しかし、時間が経つにつれ現場にも慣れ、色々覚えていくうちに余裕もでき、利用者の方一人ひとりに対して目を向けることができるようになりました。今では利用者から「あんたがおってくれて助かったよ。ありがとね。」と言ってもらえるようになり、とても嬉しく感じながら仕事をしています。また、実際に利用者に関わることで「どうすればもっと快適な生活を送ることができるのか」、「これは本当に利用者本位なのだろうか」と考えさせられることも多く、人と関わる仕事の奥深さを感じています。プライベートでは在学時に引き続きひとり暮らしをしており、友達と食事や旅行をしたり、実家に帰ったりと心身共にリフレッシュするようにしています。友達には私同様今年から新社会人として働き始めた子も多くおり、職種は違えど同じような悩みを抱えているので、お互いに愚痴をこぼしながらストレスを発散しています。頻りに帰省することはできませんが、帰省すると改めて親のありがたみや偉大さを感じ、それと同時に自分ももっと頑張らなければいけないとやる気を湧かせてくれます。まだ始まったばかりの社会人生活ですが、日々勉強しながら経験を積み重ねていき、利用者の方から信頼され頼っていただけるような介護員になれるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。



8期生

濱本 晃平

卒業して7ヶ月経ちました。私は現在、車いすや電動ベッドなどの福祉用具のレンタルや販売の営業をしています。営業という形で、社会福祉士や介護福祉士とは違った角度から福祉に関わっています。私の仕事は福祉用具をレンタルして頂き、また購入して頂かなければなりません。だからといって、お客様にとって必要ではない福祉用具をレンタル・購入して頂くわけにはいきません。利用者にとって何が必要で、何か必要ではないのかの判断をし、商品の提案をしていくためには、福祉用具や福祉の知識、医療の知識、提案を承諾して頂くためのコミュニケーション技術など、数多くのことを日々学び、日々身に付けていかなければなりません。そのような中でも、お客様とのふれあいや、お客様から『ありがとう』という感謝の言葉を頂けることがこの仕事でのやりがいがあると感じ、またこの仕事に携わることに誇りを感じております。だからこそ、しっかりとした責任感を持ち、お客様のことを考え、取り組んでいきたいと思っています。私は、まだ一人前ではありません。一人前ではない私の一番の仕事は、勉強すること、分からないことはそのままにせず、質問することです。これからも常に学ぶ姿勢を大切に、真摯にそして誠実に取り組んでいくことで、少しでも早く一人前の営業マンとなり会社に貢献して、また一人でも多くのお客様に笑顔になって頂けたらと思います。

人間社会学部 児童発達学科卒



5期生

山城 千紗登

卒業して7ヶ月が過ぎました。1日1日があつという間に過ぎていき驚くこともあります。私は現在、地元沖縄の高校で養護教諭の補充として働いています。補充は1年契約もあれば1ヶ月契約の場合もあり不安定ではありますが、本務になるための前準備・繋ぎとして、しっかりと勉強できる毎日を送っています。大学での勉強も大切ですが現場でしか学べないことばかりで、在学中に自分が何を学んできたのかと落ち込むこともありました。しかし、運が良かったのか養護教諭の複数配置校に補充が決まり、2人体制なのでペアの先生のお力をお借りしながら、日々業務をこなしています。今は、将来1人勤務になった時に自信をもって業務できるよう、たくさん学んでいきたいと思っています。来年度、引き続き養護教諭になれるか分かりませんが願書を出せる所には出して教員採用試験の勉強を頑張っていきたいと思っています。また社会人になってからは、今まで以上に自分の言動に責任をもたないといけないことを実感しました。補充という形でも公務員としてみられます。特に沖縄は小規模なので、いつでも誰にみられても自信をもって対応していけるよう、これから行動していこうと思います。4年間お世話になった先生方、友達には本当に感謝しています。出会うことができ良かったです。学んだ地と離れた場所に住んでいますが、いつかまたみんなと会えたらいいなと思っています。



5期生

平嶋 宏行

こんにちは。私は現在、山口市にある保育園に勤務しています。3歳児クラスを担当しており、毎日子ども達からたくさんの笑顔もらっています。3歳児の子ども達は何でも1人でできるようですが、まだまだ1人の力ではできないこともある子たちです。春ごろは涙してしまうことが多かった子ども達が、今ではいろいろなことにチャレンジをし、1つ1つできることが増え、少しずつ自信がきているように感じます。私は、そんな子どもたちの成長をみられる仕事に就くことができ、本当に幸せに思っています。子どもたち同様、ちょっぴり自信のついてきた今日この頃、色々なことに全力で取り組み、より良い保育ができるよう、日々頑張っています。後輩の皆さん、勉強と遊びの両立をしっかりしておけば、きっとこの先うまくいくと思います。自分を信じて頑張ってください。



人間健康学部 看護学科卒



3期生

山岡 仁美

私は現在、下松市の健康増進課で保健師として働いています。下松市は人口約5万5千人、課では10名の保健師と2名の管理栄養士で市内の母子・成人保健行政を行っています。私は主に母子保健業務を担当しています。業務は業務分担と地区分担の併用制となっており、自主グループ支援や家庭訪問などは地区担当の保健師が、育児相談や健(検)診などは職員全員で行っています。私が保健師を選んだきっかけは、大学の地域看護学の講義や実習です。特に、一生を通して人々の健康増進に関わる行政保健師の仕事に大変感銘を受けました。今は、任期付ではありますが市保健師として市民の健康づくりに携わることができ、大変嬉しいと思います。しかし実際には、上手くないこともしょっちゅうで、しょんぼりして家に帰ることも多いですが、上司に教わりながら、また関わったお母さんの笑顔と赤ちゃんやお子さんの成長を励みに、よし!がんばるか!と日々奮闘しています。まだまだ、地域を観るという視点には程遠いですが、今は1人ひとりとの関わりを大切に精一杯取り組んでいきたいと思っています。ところで、下松市の市名の由来は「昔、松の木に星が降(下)った」という言い伝えから来ているそうです。市内の色々なところで星を見つけることができるので、下松市に来られた際はぜひ探してみてください☆彡 それでは、みなさんのご活躍を聞ける日を楽しみにしています。



3期生

吉山 恵莉佳

私は平成25年3月に看護学科を3期生として卒業しました。現在は出身地である熊本で看護師として働いています。入職して半年が経ちましたが、慣れないことばかりで先輩に支えていただきながら毎日患者さんの笑顔のために頑張っています。まだ分からないことばかりで勉強、勉強の毎日です。学生生活の4年間は熊本から山口へ上京し、1人暮らしを始め寂しい思いをしましたが、同じ県外出身の友達や先輩方に出会い、終わってみれば楽しい4年間でした。大学1年と2年の時には魁祭の実行委員となり、他学科との関わりや地域の方々との交流等、大学祭を通じてたくさんのことを経験することができました。朝早くから夜遅くまで準備をしたり、企画を考えたりと大変なことも多かったです。それ以上に私自身が楽しむことが出来ました。また、夏休みや春休みを利用して韓国の協定校へ語学研修に参加しました。言葉や文化が違うため戸惑うこともありましたが、現地の学生と仲良くなりたくさんの思い出が出来ました。今でもその時の友達と連絡を取り合っています。私にとって一回りも二回りも成長出来る出会いだったと思います。数週間のうちで一生の友達が出来ました。そして、看護学科の最大のイベントである国家試験は、毎日大学で朝9時から夜9時まで友達と一緒に勉強しました。先の見えない勉強に不安になりながらも友達や先生方に励まされ乗り切り、看護師国家資格と保健師国家資格を取得することが出来ました。これまで乗り越えて来られたのは先生方をはじめ、家族や友達、先輩・後輩のおかげです。宇部フロンティア大学での経験を糧にこれからも頑張っていきます。

大学院 人間科学研究科卒



8期生

渡邊 典恵

在学中より週2日勤務していた病院に、4月から常勤として勤務しています。4月まで学生という肩書きに守られていたということに、就職して初めて気が付きました。細かい発言や行動、関わりの全てにこれまで以上に責任が伴い、心理士として、また職員として気を引き締めながら日々勤務しています。週5日勤務に慣れるまでは、体力的にも精神的にもきついと感じることがありましたが、ようやく落ち着いて仕事に取り組めるようになりました。仕事内容はある程度把握できていましたが、取り組む仕事が増え、担当するプログラムも多くなりました。この7ヶ月間、上手くできないことや失敗して落ち込むこともたくさんありましたが、周囲の支えもあり乗り越えてきました。就職してから感じたことは、どんな仕事であっても身体が資本だということです。ストレスや環境の変化で体調を崩すことが何度かあり、その度職場のスタッフに迷惑をかけてしまいました。体調が安定していれば、ある程度のストレス状況でも乗り越えていけるように思います。最近、日々接している方々から少しずつ信頼してもらえるようになり、相談を聞いたりいろいろな話をしてくれたりするようになりました。今の仕事を続けているなかで、そういった方々との関わりが私自身の力になり、癒しにもなっています。人との関わりをこれからも大切にして仕事をしていきたいと思っています。心理士としてはまだ駆け出しですが、研修会に積極的に参加する等、自己研鑽に励み、いろいろなことに取り組んでいます。しかし、1人で仕事をしていくには限界があるので、同僚や友人、先生方、先輩方のお力を借りながら、これからも頑張っていこうと思います。



8期生

白石 貴美

平成25年3月、第8期大学院を修了し、同年4月からは山陽小野田市 心の支援室に就職をしました。週5日フルタイムでの仕事は、学生とは違い緊張の連続ですが、心地よい緊張感の中で宇部フロンティア大学での学びをそのまま仕事に活かせることが出来た事は本当に幸せに思っています。仕事の内容は山陽小野田市の小・中学の3校を担当し、各学校を回り校長・教頭・生徒指導・教育相談の教諭や担任教諭等と密に話をし、情報を共有しながら、不登校児童・生徒と日々関わる仕事をしています。学校へ行かない選択をした児童・生徒は、沢山の傷つき体験の後、私が勤務するふれあい相談室に来室します。小さな心の動きを見逃さない様、また緊張する事なく過ごせる工夫をし、共に共有している時間が彼らにとって、充実した時間になればという思いで働いています。宇部フロンティア大学の入学案内を手にした時には、6年後心理職として不登校支援をしている自分自身がいるなんて思いもしませんでした。“学びたい”と思ったその時が、自分を変えるチャンスなのだと今は思います。そして次のチャンスが巡ってきた時に、そのチャンスを手に入れられる様、今、自分に出来る精一杯の努力を積み重ねようと思っています。



大学創立10周年記念講演会および第4回懇会総会の様子



大学創立10周年記念式典を終えて

宇部フロンティア大学・大学院 同窓会 会長 河村 修司



「懇会」会員の皆様、お元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。大学創立10周年を記念して平成25年2月10日(日)に国際ホテル宇部にて大学創立10周年記念式典を開催いたしました。今回の10周年記念式典では同窓会総会を兼ね、4回目の開催となり、沢山の会員の皆様にお越し頂き、役員を代表いたしましてお礼申し上げます。

この度の目玉はなんと言っても、花野裕康先生を講師にお迎えした記念講演(「空気なんて読まずに笑っつけ!コミュニケーション過剰社会の功罪」)でした。会場では、パワーポイントで映像や音楽を巧みに使いながら講演している先生と、それを熱心に聞いている

会員の姿がありました。それはまるで大講義室で講義を受けていた風景そのものでした。多くの参加者から「学生に戻ったような気持ちで楽しかった」、「こういう形で花野先生の講演を聞いて良かった」という嬉しい声が聞こえました。また、同窓会総会も無事に終わり、おいしい料理を食べ、ビンゴ大会をする等、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

次回は平成26年度に第5回同窓会総会を開催する予定です。1人でも多くの会員の皆様にお会い出来ることを役員一同心待ちにしております。



平成25年度 スポーツマッチの様子 平成25年6月11日(火)

俵田翁記念体育館にてスポーツマッチを行いました。例年のバレーボール、バスケットボールはもちろん、今年度から新たに「キャッチング・ザ・スティック」というレクリエーション種目を加え、各チーム優勝を目指して頑張っていました。

キャッチング・ザ・スティックの紹介

「トントンパ」の掛け声に合わせて横に移動していきます。簡単そうにみえますが、取り手のことを考えてスティックを立て、移動するのがとても難しい!最後は参加者全員で1つの円となってチャレンジしました。将来は日本記録にも挑戦する予定です!



懇会役員インタビュー ◎インタビュー内容:①卒業学部など ②現在の職業または職種 ③ひとこと

石田 沙織

- ①大学院 人間科学研究科 3期生
- ②心理職
- ③前回の総会には参加できなかったため、次回の総会には参加したいと思っています。

寺本 文人

- ①人間社会学部 福祉心理学科 5期生
- ②児童指導員
- ③素晴らしい未来が待っている!そう信じています。

西村 香

- ①人間社会学部 福祉心理学科 8期生
- ②介護員
- ③分からないことだらけですが、一生懸命やりたいと思います。宜しくお願いします。

井上 麻美

- ①人間社会学部 福祉心理学科 8期生
- ②大学職員
- ③毎日、覚えることがたくさんで大変だけど、充実した日々を過ごしています!休みの日に学生時代の友達と会うのが楽しみです。



児童発達学科廃止のお知らせ

児童発達学科は平成25年3月31日をもって廃止いたしました。



卒業生の皆様、お元気ですか?

児童発達学科は、平成17年4月に1期生が入学し、平成25年3月に5期生が卒業しました。8年間という短い期間でしたが1期生から5期生まで193名の卒業生を送り出しました。そして現在、

卒業生は、幼稚園・保育園の先生、小・中・高校の養護教諭、施設の指導員、一般事務職員など多方面で活躍しています。児童発達学科の学生は、良く学び、よく遊び(よく遊びの方が先だったような...)、いろいろな行事に参加し、学生生活はとても充実したものだったと思います。私にとっても、1年生の基礎ゼミから始まり4年生の卒業研究まで、また実習の巡回や児発会など、懐かしく思い出され、皆様と大学時代の思い出を共有できたことを嬉しく思っています。

私自身は、平成25年3月に児童発達学科の最後の卒業生を送り出したのを機に、大学を退職いたしました。退職後は、少しのんびりするつもりでしたが、まだ毎日のように大学(茶道部の部室)に通って、茶道の指導をしています。大学に来られたら、ぜひ声をかけてください。また、これからは同窓会や懇祭(大学祭)などで、皆様とお会いするのが楽しみです。皆様のますますのご活躍を願っています。

高本 明美



平成25年度 懇祭野菜市報告 平成25年10月26日(土)・27日(日)



台風接近により開催が危ぶまれていた大学祭ですが、地域の皆様をはじめ、多くの方に来場いただき、今年も盛大に行うことができました。懇会(同窓会)では、県内産の新鮮な野菜や果物を取り揃え、恒例の野菜市を出店!開店前から"いつもの行列"ができるのは、嬉しいかぎりです。

また、いつも快く、新鮮で美味しいお野菜を提供して下さる農家様、個人で作られているお野菜を提供していただいた皆様、本当にありがとうございました。来年もさらにステップアップして出店する予定ですので、宜しくお願いいたします。

